

森林環境譲与税対象事業の令和6年度実績について

1. 令和6年度の実績

令和5年3月に策定した雲南市林業振興ビジョンの実現に向け、3つの基本方針である「森林を活かす（森林整備）」、「森と木で稼ぐ（森林・木材利用）」、「人を育てる（人材育成・確保）」を基軸とした施策展開に活用した。

事業名	事業の概要	決算額(千円)
森林整備・木材利用促進等事業	<p>① 森林整備推進員の配置 3,054千円</p> <p>② 森林経営推進地域協議会の運営 557千円</p> <p>③ 森林整備に関するワーキング会議 (集約化区域の林業事業体との検討) 2回開催</p> <p>④ 木材流通に関するワーキング会議 (木材流通戦略の策定) 57千円 3回開催</p> <p>⑤ 木材利用に関するワーキング会議の開催 2回開催</p> <p>⑥ 木材流通・利用に関する視察 172千円</p> <p>⑦ 新たな森林管理システム推進業務委託 3,434千円</p> <p>⑧ 広葉樹等の地域産材利用促進に関する調査業務 7,944千円 広葉樹 原木ベース約70m³を製材して出荷</p> <p>⑨ 雲南市デジタル航空写真撮影・森林航空レーザ計測等人材育成業務 4,865千円 研修を開催</p> <p>⑩ 林業DXのための技術支援業務 3,080千円 地上レーザ計測結果による搬出材積の予測シート作成等</p> <p>⑪ 林地台帳更新及びシステム構築業務 10,956千円</p> <p>⑫ 島根大学共同研究 (研究題目: 森林計画の高度化に関する研究) 2,831千円 森林体積から材積を推計する研究</p> <p>⑬ 木材流通戦略策定支援業務 3,300千円 中国四国の市場や製材所のヒアリング・木材流通戦略作成</p> <p>⑭ 島根県森林クラウド利用料 230千円</p> <p>⑮ 森林調査用アプリケーション利用料 2,303千円</p> <p>⑯ 公共施設への市産材を使用した木製備品の整備 540千円 市民搬出材を使用したドックランや木製貯金箱を整備</p> <p>⑰ 木材商品開発支援事業 3,095千円 5件 木製ドッグラン・市民搬出材製材板・防災トイレ・広葉樹乾燥板・広葉樹フローリング</p> <p>⑱ 木材乾燥機導入支援事業 275千円 1件</p> <p>⑲ 林業・林産業人材配置支援事業 6,410千円 5件</p> <p>⑳ 雲南吉田木材流通拠点施設案内標識 105千円</p> <p>㉑ その他普及活動、イベント、事務用品等 925千円</p>	54,133
森林整備推進事業費補助金	<p>① 新植支援事業 2,148千円 10.74ha</p> <p>② 保育（下刈・除伐）支援事業 1,819千円 51.57ha</p> <p>③ 既存作業道の簡易改良支援事業 1,050千円 4,432m</p> <p>④ 原木搬出作業道開設支援事業 7,907千円 7,907千円</p> <p>⑤ 木質バイオマス搬出支援事業 5,730千円 1,911t</p>	22,045

	⑥ 保育間伐支援事業 12 千円 0.47ha ⑦ 森林再生支援事業 115 千円 1.94ha ⑧ 里山整備支援事業 990 千円 1 件 ⑨ ICT 機器等導入支援事業 299 千円 1 件 ⑩ 鳥獣被害地復旧対策支援事業 申請なし ⑪ 林業種苗供給力強化支援事業 475 千円 2 件 ⑫ リモートセンシング技術活用支援事業 1,500 千円 60ha	
林業担い手 確保・定着 支援事業	① 新規林業従事者確保支援事業 1,600 千円 8 人 ② インターンシップ受入れ支援事業 130 千円 2 人 ③ 中型免許取得支援事業 406 千円 7 人 ④ 自主企画研修支援事業 0 千円	2,136
林業総務管 理事事業	① 島根県緑化推進委員会負担金 117 千円 ② 公社造林推進協議会負担金 560 千円 ③ 斐伊川流域林業活性化センター負担金 227 千円	904
森林バイオマス エリギー事業	森林バイオマスエリギー事業業務委託 10,531 千円 バイオマスフェスタの開催 ドッグラン奥出雲葡萄園（11月）バイオマス材普及啓発・ 販売 薪割体験、桃源郷（3月） グループ搬出、技術向上研修会 ③ バイオマスバイオ燃焼灰成分検査 1,105 千円	11,524
森林バイオ マス推進事 業	薪ストーブ等導入事業 600 千円 6 件	300
公有林整備 事業	① 作業道修繕 555 千円 ② 支障木伐採 261 千円 ③ 除伐 293 千円	1,109
林道維持管 理	維持管理費用 (主に崩土除去、路肩・路面修繕、陰伐り等)	4,999
合 計		97,150

※注) 決算見込み額は上段が森林環境譲与税、下段 () 書は事業費総額

2. 令和6年度実施の主な事業実績

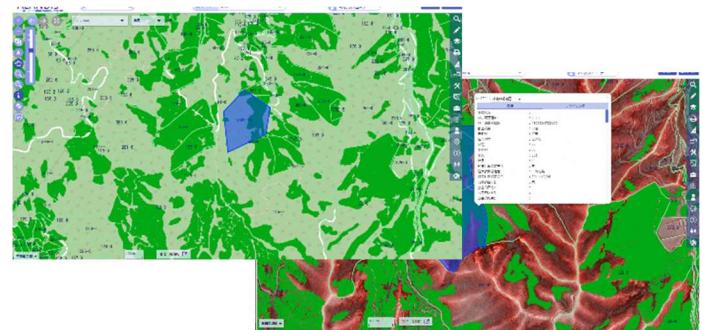
(1) 林地台帳更新及びシステム構築

森林施業の集約化及び効率化に資する情報を整備することを目的として、地域森林計画対象民有林について、一筆の土地ごとの所有者氏名、住所、土地の所在地番、地目及び面積、土地の境界に関する測量の実施状況、その他法令等で定められた事項を記載した林地台帳及び林地台帳地図の情報の更新を行い、その情報を管理する地図情報システム（以下、「GIS」という。）を構築した。

【林地台帳管理のイメージ】



【林地台帳地図管理のイメージ】



連携

(2) 森林整備に関するワーキング会議（集約化区域の林業事業体との検討）

市内林業事業体を集めた会議等を行い、今後林業振興ビジョンの目標の達成に向けて森林整備や施業を重点的に実施する集約化区域の設定を実施した。

森林経営推進センターの支援を受け、意向調査の結果を考慮しながら森林簿情報を集計した結果を地図情報として整理し、各事業体の集約化区域の事業の進め方を検討した。この結果を基に今後森林の調査や施業提案書の作成に取り組んでいく。

○関連する主な事業と今後の展開

・島根大学共同研究（研究題目：森林計画の高度化に関する研究）

森林の生長量を時系列で分析することにより土地の木材生産能力を評価し（地位の推計）、各林分の整備方針の参考データを作成する。

・林業DXのための技術支援業務

レーザ計測データ等をクラウドシステムで整備することで、施業コストや収益性の分析及び、現場作業でのデータ活用を図るための技術開発を行う。

・林地台帳更新及びシステム構築業務

森林所有者等との住民座談会などに向けて森林所有者や土地境界の明確化に台帳を活用していく。

(3) 木材利用に関するワーキング会議の開催及び広葉樹等の利用促進の取組

木材利用に関するワーキング会議を開催し、合同会社グリーンパワーうんなんや市内製材所及びオムロンソーシアルソリューションズ株式会社と連携し、これまであまり活用されてこなかった広葉樹の利用促進に取り組んだ。また、市内製材所との協議を進め、JAS取得や製材力向上の方策について検討した。

【広葉樹林及び搬出材の状況】



【広葉樹の製材板】



(4) 森林整備推進事業費補助金

- ・新植支援事業：8件 10.74 ha
- ・保育（下刈・除伐）支援事業：70件 51.57 ha
- ・既存作業道簡易改良支援事業：5件 4,432 m
- ・原木搬出作業道開設支援事業：9件 7,907 m
- ・木質バイオマス搬出支援事業：3事業体 1,911 t
- ・保育間伐支援事業：1件 0.47 ha
- ・森林再生支援：3件 1.94 ha
- ・里山整備支援事業： 1件
- ・I C T機器等導入支援： 1件
- ・林業種苗供給力強化支援： 2件
- ・リモートセンシング技術活用支援：2件（レーザ計測等 約60ha程度）

3. 令和7年度以降の事業計画

昨年度と同様に雲南市林業振興ビジョンに基づく事業展開を継続して行う。

特に、森林整備に関しては施業集約化に向けて事業体と一体となり住民座談会を通じた森林整備の推進を、木材利用については林業事業体及び製材事業者との連携により木材流通分野では森林認証の取得の検討やコーディネート人材の配置を、また、引き続き広葉樹等のサプライチェーン構築を通じた販売量の増加に向けて継続して取り組む。

また、林業事業体の人材確保に関するワーキング会議や、森林バイオマスエネルギー事業の市民参加型収集運搬システムのグループ登録者の人材育成の実施を予定している。